當工場ハ兼テヨリ就業規則不備ナル點ガ多カツタノデ昭和五年之

一、昭和五年ノ争議ヨリ今日マデノ経緯

一、解雇職工　七十七名（男一〇名　女六十七名）

支店　〃　〃　東區南久寶寺町四ノ六

一、工場所在地　大阪市天王寺區大道四丁目五五

一、資本金　百二十五萬圓（拂込済）

一、社長　平尾賛平

一、事業　化粧品製造工業

場ヲ閉鎖スルニ至ツタ。

機ヲ得テ同社ハ今回東京ニ於テ工場ヲ擴張シ之ヲ理由トシテ當工

シタ。爾来事業主ニ於テモ該工場閉鎖ノ件ノ問題トシテ適當ナ時

ガ、許ヲ[illegible]（全國[illegible]）ノ乘ズル所トナツテ、争議ヲ醸

當社ニ於テハ昭和五年事業不振ヲ理由トシテ工場閉鎖ヲ断行シタ

平尾レート株式會社工場閉鎖ノ件

ヲ改正セントシタ、處ガ職工ハ就業規則改正ニアラズ改悪ナリトノ理由ヲ以テ組合ノ應援ヲ得テ之ニ反對シ争議ニ入ラントシタ。會社ニ於テハ時ヲ移サズ工場閉鎖ヲ宣言シテ之ニ對抗シタ、ソコデ職工ハ就業規則反對ヨリモ工場閉鎖反對ヲ強調シテ同盟罷業ニ入ツタ。

之ニ對シ會社ハ工場閉鎖ヲ解キ罷業ノ主脳者ヲ解雇シタ。而シテ大阪府特高ノ手ニ依リ内々ニテ争議ハ解決シ、約三週間ノ罷業及解雇者ニ對スル退職手當トシテ三千五百圓ヲ支給シタ。

其後職工ハ此退職手當額ハ規定ニ依ル金額ト相異スル故ヲ以テ訴訟ヲ起シタガ第一審ニ於テ失敗シ控訴シタ。第二審ニ於テハ職工ノ勝トナツタノデ會社側ハ更ニ上告シ結局、調停ニ依ル決定トノ理由ヲ以テ會社ノ勝トナツタ。

此問題ガ本年八月ニ決定サレルヤ否ヤ會社ハ大阪工場ヲ閉鎖スル内意ヲ決シ一部社員ニ之ヲ言ヒ含メテ次ノ工場閉鎖ノタメ紛爭